

令和6年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：福岡県内の世界遺産について

福岡県 人づくり・県民生活部 文化振興課

九州国立博物館・世界遺産室

1 調査の目的

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」に基づき、顕著な普遍的価値を有するものとして、世界遺産リストに記載された遺産である。「文化遺産」、「自然遺産」、両方を兼ね備えた「複合遺産」の3種類からなり、国や民族をこえて人類が共有するべき遺産とされている。

福岡県内には、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（平成27年7月登録）と『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』（平成29年7月登録）の2つの世界文化遺産がある。

本アンケートは、福岡県内に所在する世界遺産の認知度を把握するとともに、世界遺産としての価値発信の在り方等について今後の事業の参考とする。

2 調査期間

令和6年10月10日(木)～11月7日(木)（第4回）

3 回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数（人）	構成比				
総数	人数	365		91	190	57	27
	構成比		100.0%	24.9%	52.1%	15.6%	7.4%
性別	女性	191	52.3%	50	97	30	14
	男性	171	46.8%	39	92	27	13
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	50	13.7%	11	27	8	4
	30代	61	16.7%	17	30	10	4
	40代	76	20.8%	20	39	12	5
	50代	64	17.5%	15	34	12	3
	60代	74	20.3%	21	39	5	9
	70代以上	40	11.0%	7	21	10	2

モニター数 398人

回答数 365人

回収率 91.71%

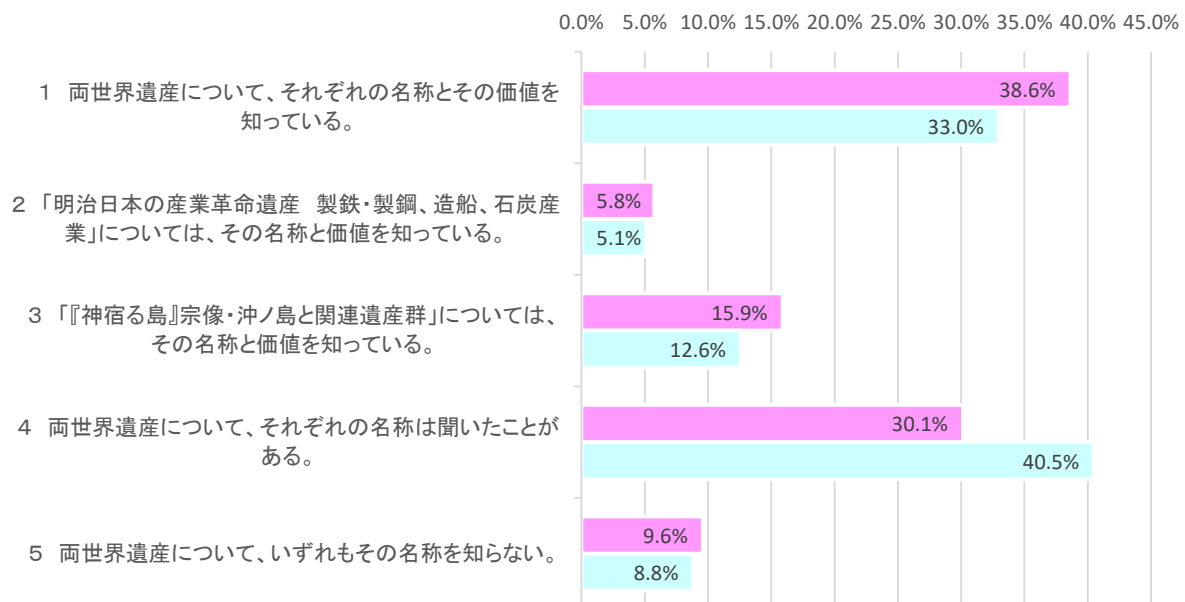
実施期間 R6.10.10～R6.11.7

- 【回答結果の注意点】
- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
 - ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

4 回答結果

問1「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」についてそれぞれの名称とその価値について知っていますか。
次の中から当てはまるものを【ひとつ】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 両世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている。	141 人	38.6%	123 人	33.0%
2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については、その名称と価値を知っている。	21 人	5.8%	19 人	5.1%
3 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、その名称と価値を知っている。	58 人	15.9%	47 人	12.6%
4 両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある。	110 人	30.1%	151 人	40.5%
5 両世界遺産について、いずれもその名称を知らない。	35 人	9.6%	33 人	8.8%



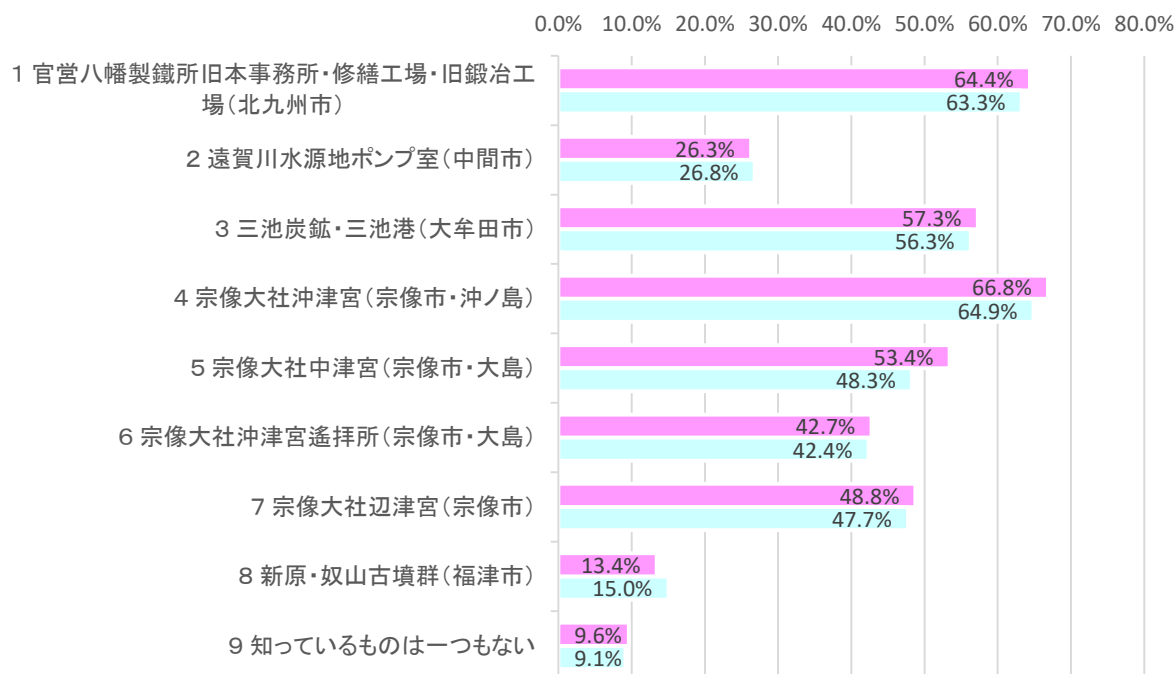
【問1の調査結果より】

・本県にある世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている人の割合は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(1及び2の合計)で44.4%(前年比+6.3ポイント)、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(1及び3の合計)では54.5%(前年比+8.9ポイント)と認知度が増加している。

・また、「両世界遺産について、いずれもその名称を知らない」と回答した方の割合は9.0%(前年比▲0.4ポイント)と改善しているが、地域別でみると、筑豊地域では18.5%となっており、他の地域に比べ認知度が低いことから、筑豊地域での情報発信に取り組んでいく必要がある。

問2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知っている構成資産はありますか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	235 人	64.4%	236 人	63.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	96 人	26.3%	100 人	26.8%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	209 人	57.3%	210 人	56.3%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	244 人	66.8%	242 人	64.9%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	195 人	53.4%	180 人	48.3%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	156 人	42.7%	158 人	42.4%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	178 人	48.8%	178 人	47.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	49 人	13.4%	56 人	15.0%
9 知っているものは一つもない	35 人	9.6%	34 人	9.1%



【問2の調査結果より】

遠賀川水源地ポンプ室及び新原・奴山古墳群は認知度が低く、その他の場所が対前年度比で認知度が増加しているのに対し、微減となっている。

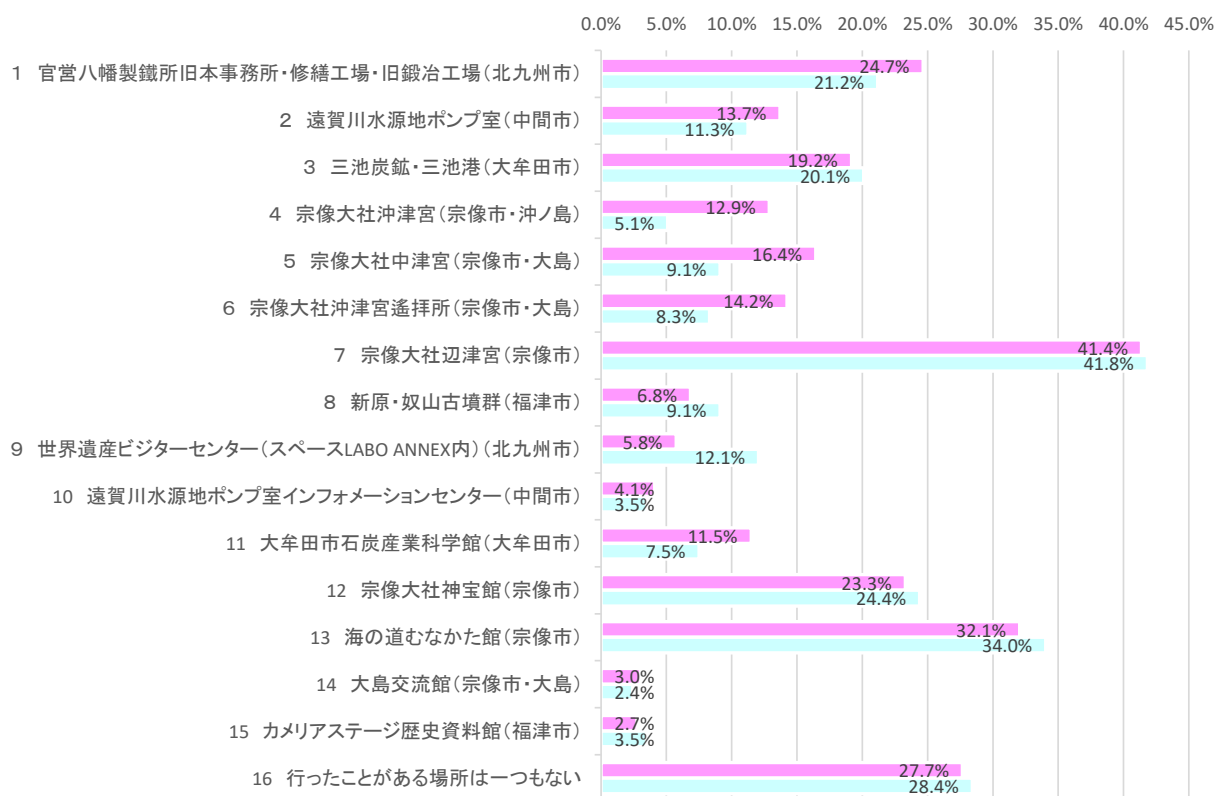
なお、認知度を年代別で分析した結果、遠賀川水源地ポンプ室は10代で12.5%、30代で19.7%、40代で21.0%となっているほか、新原・奴山古墳群は30代以下で4.0%と非常に低くなっていることから、こうした年代をターゲットとする認知度向上の取組を行う必要がある。

問3「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産や関連する展示施設のうち、行ったことがある場所はどこですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

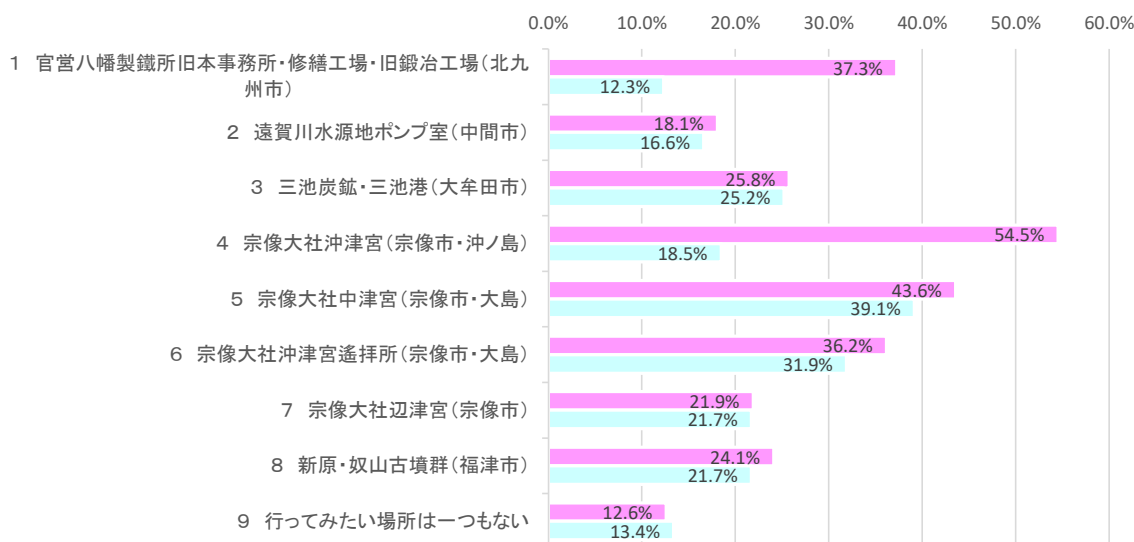
※選択肢1～8は構成資産、9～15は関連する展示施設です。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	90 人	24.7%	79 人	21.2%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	50 人	13.7%	42 人	11.3%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	70 人	19.2%	75 人	20.1%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	47 人	12.9%	19 人	5.1%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	60 人	16.4%	34 人	9.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	52 人	14.2%	31 人	8.3%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	151 人	41.4%	156 人	41.8%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	25 人	6.8%	34 人	9.1%
9 世界遺産ビジターセンター(スペースLABO ANNEX内)(北九州市)	21 人	5.8%	45 人	12.1%
10 遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター(中間市)	15 人	4.1%	13 人	3.5%
11 大牟田市石炭産業科学館(大牟田市)	42 人	11.5%	28 人	7.5%
12 宗像大社神宝館(宗像市)	85 人	23.3%	91 人	24.4%
13 海の道むなかた館(宗像市)	117 人	32.1%	127 人	34.0%
14 大島交流館(宗像市・大島)	11 人	3.0%	9 人	2.4%
15 カメリアステージ歴史資料館(福津市)	10 人	2.7%	13 人	3.5%
16 行ったことがある場所はありません	101 人	27.7%	106 人	28.4%



問4「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産のうち、今後行ってみたい場所はありますか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	136 人	37.3%	46 人	12.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	66 人	18.1%	62 人	16.6%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	94 人	25.8%	94 人	25.2%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	199 人	54.5%	69 人	18.5%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	159 人	43.6%	146 人	39.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	132 人	36.2%	119 人	31.9%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	80 人	21.9%	81 人	21.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	88 人	24.1%	81 人	21.7%
9 行ってみたい場所はない	46 人	12.6%	50 人	13.4%

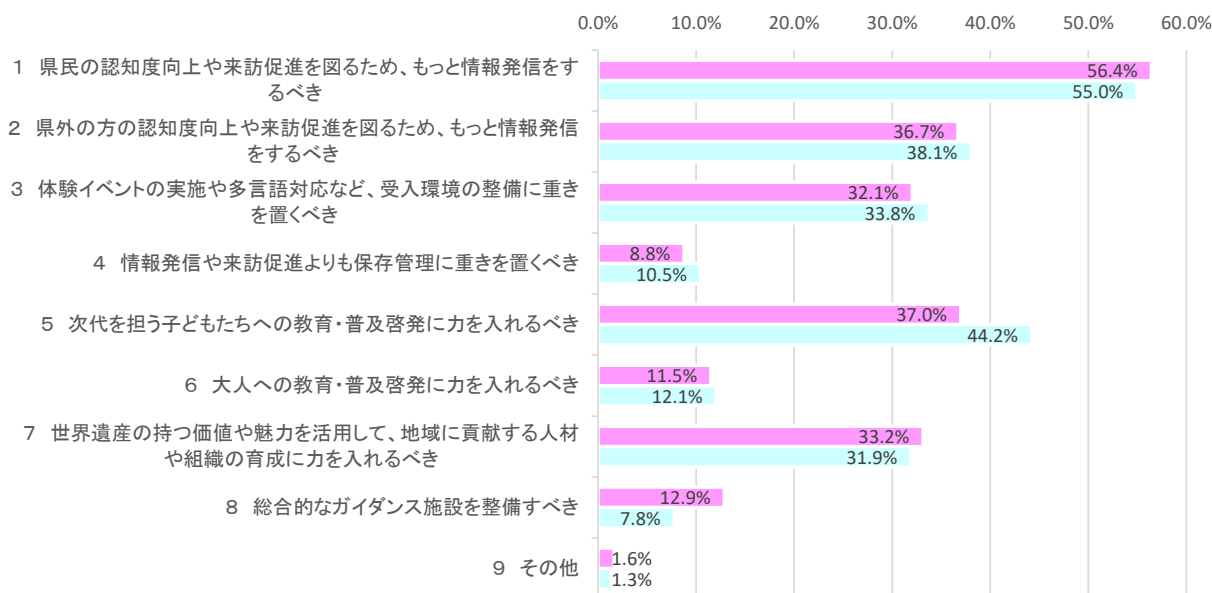


【問3、4の調査結果より】

- ・両世界遺産の構成資産や関連する展示施設に「行ったことがある場所は1つもない」という回答が前年度に引き続き約3割に上ることから、来訪促進を図る取組を継続していく必要がある。
- ・宗像市・大島の構成資産である宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所について、「行ったことがある」方は2割に満たないのに対し、「行ってみたい」と回答した方は約4割となっており、潜在的な来訪ニーズが高いことが確認できる。特に、筑豊地域の方の来訪ニーズが高くなっている(それぞれ55.6%、44.4%)。また、上陸禁止である宗像大社沖津宮へ行ってみたいという回答は5割を超えており、関心の高さが明確となった。
- ・官営八幡製鐵所日本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場及び三池炭鉱・三池港について、20代未満の62.7%が「行ってみたい」と回答していることから、ツアーやイベントの企画が有効と考えられる。
- ・構成資産や関連する展示施設によって、来訪の有無の差が大きいことから、両世界遺産の構成資産や関連施設が連携する周遊促進イベントが有効であると考えられる。

問5 福岡県内の世界遺産について、優先的に取り組んで欲しいことは何ですか。
次の中から最も当てはまるものを【3つまで】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 県民の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	206 人	56.4%	205 人	55.0%
2 県外の方の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	134 人	36.7%	142 人	38.1%
3 体験イベントの実施や多言語対応など、受入環境の整備に重きを置くべき	117 人	32.1%	126 人	33.8%
4 情報発信や来訪促進よりも保存管理に重きを置くべき	32 人	8.8%	39 人	10.5%
5 次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき	135 人	37.0%	165 人	44.2%
6 大人への教育・普及啓発に力を入れるべき	42 人	11.5%	45 人	12.1%
7 世界遺産の持つ価値や魅力を活用して、地域に貢献する人材や組織の育成に力を入れるべき	121 人	33.2%	119 人	31.9%
8 総合的なガイダンス施設を整備すべき	47 人	12.9%	29 人	7.8%
9 その他	6 人	1.6%	5 人	1.3%

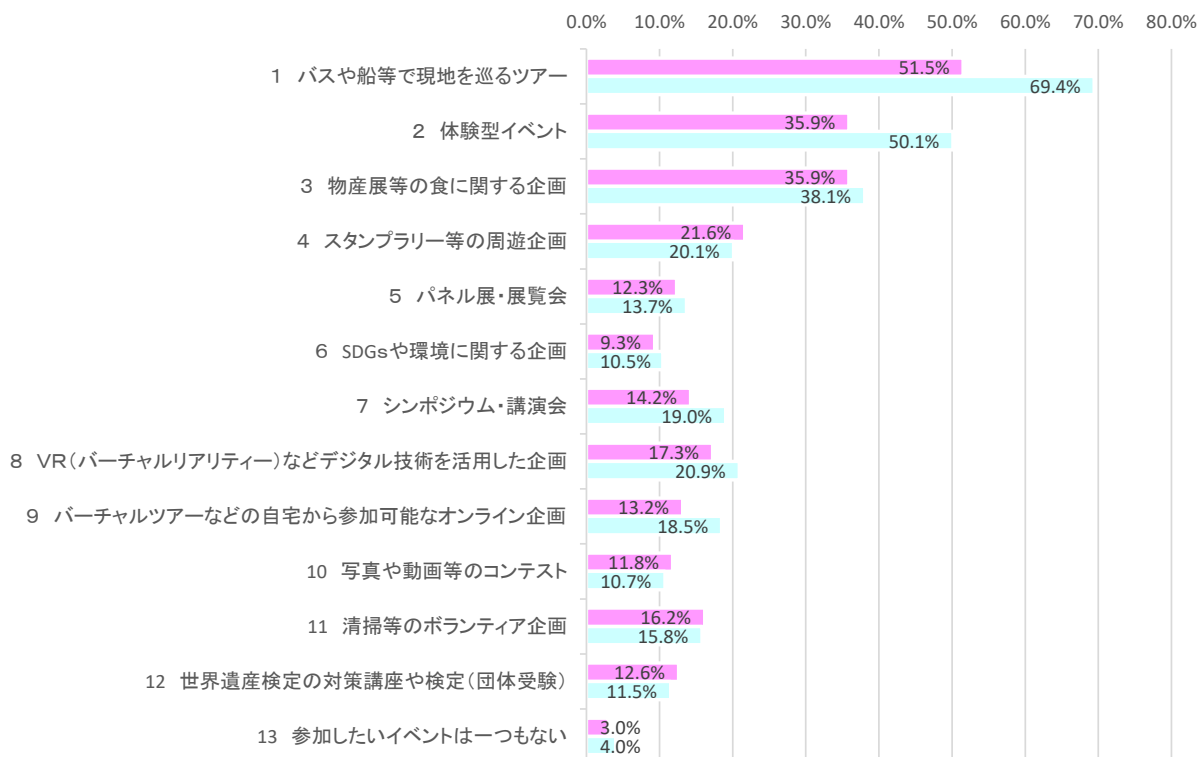


【問5の調査結果より】

- ・「認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき」との回答が多いことから、引き続き県内外に向けた情報発信が求められている。
- ・「次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき」との回答が昨年に引き続き割合が高く、子どもが楽しみながら世界遺産について学ぶための取組を今後も継続していく必要がある。
- ・受入環境の整備や、地域に貢献する人材や組織の育成が必要という回答が3割を超えていることから、今後も地元と世界遺産の価値を共有しつつ、連携した取組が求められている。

問6 今後世界遺産に関するイベント等が開催されたら参加したいものはありますか。
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
1 バスや船等で現地を巡るツアー	188 人	51.5%	259 人	69.4%
2 体験型イベント	131 人	35.9%	187 人	50.1%
3 物産展等の食に関する企画	131 人	35.9%	142 人	38.1%
4 スタンプラリー等の周遊企画	79 人	21.6%	75 人	20.1%
5 パネル展・展覧会	45 人	12.3%	51 人	13.7%
6 SDGsや環境に関する企画	34 人	9.3%	39 人	10.5%
7 シンポジウム・講演会	52 人	14.2%	71 人	19.0%
8 VR(バーチャルリアリティ)などデジタル技術を活用した企画	63 人	17.3%	78 人	20.9%
9 バーチャルツアーなどの自宅から参加可能なオンライン企画	48 人	13.2%	69 人	18.5%
10 写真や動画等のコンテスト	43 人	11.8%	40 人	10.7%
11 清掃等のボランティア企画	59 人	16.2%	59 人	15.8%
12 世界遺産検定の対策講座や検定(団体受験)	46 人	12.6%	43 人	11.5%
13 参加したいイベントは一つもない	11 人	3.0%	15 人	4.0%



【問6の調査結果より】

- ・ツアーや体験型イベント、物産展等の食に関する企画など、世界遺産を身近に感じられるイベントや企画への需要が大きい。
- ・VRなどのデジタル技術を活用した企画やオンライン企画に参加したいとの回答が2割程度あった。
- ・パネル展・展覧会、シンポジウム・講演会、検定など、世界遺産について学ぶ機会を提供する取組みの継続が求められている。

問7 福岡県の世界遺産について、これまでの設問以外に意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【一部抜粋(回答者数105人)】

教育の推進

幼い頃から時間をかけて知識を醸成させることが重要である。

小学生から社会科の授業などで福岡県に世界遺産があることを学んだり校外学習で実際に行ったりする機会が増えたらよい。

広報・啓発

世界遺産に認定された時にニュースで知ることもあると思うが、施設の詳細は実際に見学すると伝わりやすいので、バスツアーや子供達の社会見学、福岡県をPRする機会に取り入れると認知度も上がると思う。

身近にありながらあまり知らない事も多く福岡県民として不甲斐ない気持ちもあるが、もっと世界遺産としての魅力を情報発信してその価値観や魅力を沢山の人の人に伝えてほしいと思う。

SNS、テレビ・新聞等による特集などの情報発信を行ってほしい。

市政だよりなどの広報誌で簡単な紹介をしてほしい。興味がある人はQRコードで誘導しサイトで詳しくわかるようにしてほしい。

次代の子どもたちにも知って欲しい。そのためにはまず親世代への情報をもっと提供して欲しい。

世界遺産は、福岡県民が観光する名所ではなく、県外の人やインバウンドの外国人が観光するイメージが強い。なので、世界遺産の観光客に向けて、観光アプリを作ってもらって利用してもらい、クーポン等をつける代わりに観光場所ごとにアンケートを書いてもらうようにしたほうが一番参考になると思う。インバウンドの外国人と日本人とは感覚が違うので、どう感じているかを知ることとはとても大事だと思う。

イベント・ツアーの企画・開催

バスツアーや親子イベントなどを実施してほしい。

VRやAIを活用した疑似体験コンテンツや体験イベントを提供してほしい。

大体の場所は、行った事があり、概要は知っているが、その存在意義、歴史的功績を詳しくは知らない。イベント、展示会等開催でのさらなる周知を計ってもらいたい。

また、場所がバラバラすぎる事もあり、ツアーで廻るのはいいアイデアだと思う。

福岡県の世界遺産について、ほとんどの県民は何となく知っているだけで、それ以上ではないように思う。せっかくだから、県民にもう少し、マスコミに取り上げてもらうように、抽選による無料バスツアーの開催とか、該当地でのイベントを実施する等集客を努力するべきである。

自治体主催のバスツアーなどを行い、そのためのマイクロバスを貸し出す、補助金を出すなどしてほしい。

アーティストグループなどとコラボしたイベント、そこでしかできない、手に入らないなどのものがあればファンの方を中心に来訪者が増えると思う。

日常的に目に触れることが大事だと思う。知名度がないと、興味を持ちにくいと思う。有名人を呼んでイベントを行う等が必要。

文化遺産についてはその存在をなぜ遺産として保護継承していくべきなのかについて解説のストーリー性を構築し、物語として心象に残るような伝え方が工夫されると関心が高まると感じる。宗像のケースは壮大なフィクションになってしまう弊害もあるが、九州国立博物館の展示方法などは見学した当時、大きく関心を持った覚えがあり、近頃の古墳や古代遺構などに関心を持つようになった。両遺産ともにより広く人口に膾炙されるようにするには多くの人に訪問してもらい且つ遺産の価値を認知してもらう必要があると思うが、両遺産への交通のアクセスは便利がいいとは言えない。自家用車だと問題ないが、福岡市、久留米市、北九州市の中心部からの直行交通をイベント期間などを設けて運行してみるのはいかがでしょうか。(ツアーまで仕組む前の段階として)

イルミネーションや、シャボン玉師とのコラボイベントをしたら更に興味を持つ方が多くなると思う。

世界遺産とお祭り、フェス、マルシェ等を組み合わせるなど、世界遺産に興味ない方など誰でも気軽に参加できるよう敷居の低い取り組みをすべき。

遺産単独推しは認知、顧客層の開拓に繋がらない。

だらだらするのではなく、キャンペーン期間を設け、露出を高くすることが有効。

観光で行くより、教育的側面のほうが需要は高いと思われる。観光として行くには、世界遺産周辺地域自体の魅力が少ない。

世界遺産に関するガイドツアーや一般来訪者では入れないような場所に入れるなど、希少性をアピールしたほうが来訪意欲は高まるのではないかなと思う。

語り手さんによるイベントがあったら、是非参加したい。

インフラ整備
行き方や駐車場、飲食店情報等がわからないので、シャトルバス運行(昼食付き)等にとすると、土地勘のない人には、参加しやすい。
周辺整備をして、来やすい環境整備を行ってほしい。
世界遺産周辺の駐車場、公共乗り物等の整備を行ってほしい。
来訪者が増えた時に、自然や地域の方に迷惑に、ならないようにする取り組みも大切だと思う。
世界遺産を観光資源と考えるならアピールが足りないかも。むづかしい説明だけでは興味がわかない。アクセス、駐車場情報とかが十分といえない。また、遠くから眺めるだけの施設もあり、物足りない。
世界遺産の場所までのお得な切符などがあると気軽に行きやすくなると思う。
管理・保全
福岡県内の世界遺産について、もっと他の人々に知ってもらいたいが、世界遺産の保全にも力を入れてほしい。
後世に残る遺産として保存活動に注力をお願いしたい。
認定された場合は保全費用が非常に自治体の負担になると思う。
福岡の世界遺産見に行きたい場所が少ない。あまり魅力を感じない。世界遺産増やすと維持管理費がかかるので増やさないで欲しい。
福岡にはそんな事なくても人々を惹きつける魅力が沢山ある。他の事に予算を使って欲しい。
県内の世界遺産に認定されているものは、県外のものと比較すると観光地的な要素は薄いと感じている。下手に観光地化するよりも世界遺産に認定された背景と価値を維持することが重要だと思う。
世界遺産の維持や管理が保有する企業や地方公共団体、ボランティア等に支えられている感が強い。もっと、行政が人的・物的・金銭的なバックアップを強化すべきだと思う。
観光などで人が集まるのはよいが、地元の方々には迷惑に感じている方もいるかと思われる。また、マナーの悪い人たちへの対処は厳格に行うべきだと思う。
インバウンド優先にならないよう管理を徹底して末永く保存してほしい。
世界遺産認定に関する意見
海外の歴代認定世界遺産はとてつもなく壮大なものがある。それらに比べて最近の国内の候補は規模が小さすぎではないかと思う。世界に誇れるもの以外は今後候補にしないほうが良いと思う。国内で国宝認定のような形がいいと思う。
国内遺産ではダメなのか。世界に認められて何かメリットがあるのか?外国人観光客の誘致のためか?国内でチンマリまとまっても将来の展望がないってことなのだろうか。
個人的には新しく世界遺産に立候補する必要性を感じない。今、あるものを知り、大切に守る知識を得たい。
世界的に見て世界遺産件数は増えすぎており、希少価値は失われてきている。
これからはやみくもに新規登録を目指すのではなく、既存登録遺産のPR強化が必要と感じる。
もっと過疎地の文化遺産に光を当ててほしい。
その他
鹿児島県の屋久島は『洋上アルプス』として有名。福岡県の世界遺産名も誰でも覚えやすいネーミングにしたらどうか。
インバウンドねらったり、観光客増やしたりということを目的とするのはいいけれど、それによって負の側面もあるので、なんともいえない。インバウンドより地場産業とかに力を入れたほうが良いと思う。
世界遺産を観光地化してどれくらい他県からの収入が得られるのか。
関心がないわけではないが、県内の世界遺産に行ったことがないので、何らかの形で行きつけかけがあると自分も含めて認識できるのではないだろうかと思う。
福岡の世界遺産をまとめた写真集や雑誌があると、見てみたいと思う。なぜ世界遺産になったのか、特殊性などの解説があると、より興味をもてると思う。
つい最近、世界遺産を紹介するテレビ番組で福岡県内の世界遺産について詳細を知り、興味を感じていた。近いうちに家族で巡ってみたい。
世界遺産のことについて聞いたことがあるくらいで行ったことがなかった。まず行ってみて自分から周りに宣伝していきたい。
県民の宝なのでもっと勉強して大切に守りたいです。また貴重な観光資源なのでうまく活用して宣伝して欲しい。
PRが大々的だと、渋滞や面倒を感じて気が引ける。
ショッピングモールのように観光地として人がはけないと、メディアで見るだけで充分だと思ってしまう。

【「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」について】

教育の推進

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産は九州5県、山口県、岩手県、静岡県、全国の8県11市にも点在しているため、どの資産も今ひとつインパクトに欠ける。観光資源ではなく、児童生徒の社会科見学に使うなど活用方法を一考したほうがいいと思う。

広報・啓発

中間市に在住なので、世界遺産に関する取り組みは身近に感じている。イベントに参加すると市外の方も参加されていることが多いので市外、県外の方への認知をもっと増やせるようになれば良いと感じている。

製鉄所の旧本事務所は特に、間近で観れないため、中の様子を別場所にパネル等展示したりと工夫する必要があると思う。

官営八幡製鉄所は現在の居住地のすぐそばなので容易に行くことができるが、場所によってはなかなか訪問や見学がしにくい場合もある。訪問や見学は無論大事だが、単純に現地に行く以外にも理解を広めるためのさまざまな取り組みが進められるべき。

「産業革命遺産」の存在は知っているものの、それが具体的にどこにあるかまでは知らないし、広く知られていない。この世界遺産を今後も維持し、何かの形で後世に伝えていくのであれば、もっと広報をすべき。

沖ノ島や製鉄、三池炭鉱は少しは知っているけれど詳しくは知らない。せっかくの身近な世界遺産なので今後は勉強したい。三池炭鉱は小説などで知り興味があるが世界遺産というだけで興味がわくことはないかもしれない。後世に継承していくにはやはり宣伝活動が必要。

大牟田市はかつての賑わいがなくなり、さびれてしまっている。

世界遺産を上手に活用し、人々が訪れてくれるよう、活性化に期待したい。

管理・保全

以前大牟田の世界遺産炭鉱に西鉄電車で行きましたが、世界遺産謎のものだけで周りは閑散として草が沢山生えた状態だった。

その他

近いといつでも行けるので、逆に行かない。中間とか最初は目立っていたが、最近は全然盛り上がってないような気がする。

【『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』について】

広報・啓発

沖ノ島などは非常に行きにくい場所なので、ぜひバーチャルツアーなどを企画してアピールしてほしい。

宗像大社を訪れた際、特に特別な祭りなどやっていた時期でもなかったため、閑散としていた。資料館は充実していると思ったが、ちょっと人が少なすぎると感じた。その原因の一つは、アピール不足であり、観光地としての魅力の発信が圧倒的に足りないと思う。例えば、現在宗像周辺地区で「筑前玄海イカフェア」が開催されているが、そうしたイベントと相乗効果を狙った連携をとっていきべきだと思う。さらに、今はインバウンド需要の高まりで外国からの観光客がとて増えているので、その外国人にアピールできるようにSNSを積極的に利用することが大切と思う。

図書館で宗像の世界遺産のDVDを借りて見たが正味10分くらいでびっくりした。最低30分位で制作して欲しい。そして各地の図書館に配布して欲しい。

インフラ整備

宗像大社へのアクセスが悪い。公共交通機関で行きにくいので、休日やゴールデンウィークなどはシャトルバスを設けるなどして、観光客増加を目指してほしい。

世界遺産認定に関する意見

福津市の古墳群が世界遺産になっているが、もっと広域的に考えて、宮若市の竹原古墳を含めてはどうか。

竹原古墳は美術的価値も高く、整備されているので、世界遺産の価値を高める事ができるのではないかな。

その他

沖ノ島だけは聖域として開発しないでほしい。

【問7の調査結果より】

- ・世界遺産に関する取り組みについて様々な意見が得られた。
- ・特に、世界遺産としての広報・啓発やイベント・ツアーの企画・開催に関する意見が多く、より広く世界遺産についての情報発信を行っていくことや、魅力的なイベントやツアーの開催を求める要望が多く寄せられた。
- ・そのほか、子どもたちへの教育の推進、インフラ整備や管理・保全を求める意見もあった。
- ・これらの意見を踏まえ、世界遺産の保存・活用の取り組みを今後も継続・発信していく必要がある。